

平成18年8月1日

バーコード検証機 QC890 を 8 月から輸入販売開始。**バッテリー内蔵により携帯性に優れ、リニアイメージャ採用により高い精度で検証可能。**

自動認識システムのアイニックス株式会社（東京都目黒区大橋 1-6-2 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也）は、米国のバーコード機器メーカーである Hand Held Products 社（700, Vision Drive, Skaneateles Fall, New York）のバーコード検証機 QC890 を 8 月から輸入販売を開始します。

ハンドヘルドプロダクト社は、500 人以上の従業員を抱えるバーコード機器メーカーで、バーコードリーダー、ハンディターミナル、バーコード検証機等を開発しています。また、アイニックスは、日本代理店として 9 年前から同社のバーコードリーダーやバーコード検証機を輸入販売しています。

バーコード検証器 QC890 は、手軽にバーコードの検証ができるように開発された製品で、バッテリーを内蔵することにより携帯性に優れています。また、リニアイメージャ方式を採用したことにより、検証機をバーコードの上に置き、ボタンを押すだけで検証ができますので、操作が簡単です。しかも、従来のワンド方式に比べ検証データの再現性も大きく改善しています。検証結果は、接続されたパソコン画面で確認できると共に、プリンタに出力することが可能です。

バーコードは、非常に高い信頼性から、製造、物流、流通、サービス等、様々な分野で広く使用されています。しかし、バーコードの印刷品質が悪い場合は、バーコード本来の高い信頼性が得られず、読取率が低下して作業性を悪化させたり、誤読によりシステムエラーを起こすことがあります。したがって、バーコードの品質管理は、システムの信頼性を維持する上で極めて重要なテーマであり、その必要性の高さから ISO/IEC 15416 や JIS X 0520 等で規格化されています。バーコード検証器 QC890 は、国際規格や国内規格に適合した検証をすることができます。

従来、バーコードの検証は、バーコードの寸法やコントラスト等の印刷品質に関する検証が中心でした。しかし、医療材料標準ラベル、生鮮品標準ラベル(食肉、魚、野菜、花卉)、公共料金代理収納等で使用されている UCC/EAN-128 は、データの前にアプリケーション識別子を付加しなければならず、また、複数のデータを連結するためのルールもあることから、データフォーマットの検証も必要になっています。また、医薬品業界では、省スペースシンボル RSS が使用されることから、この新しいシンボルに対する検証も必要になります。バーコード検証器 QC890 は、UCC/EAN-128 や RSS シンボルにも対応しています。

バーコード検証機 QC890 は、オープン価格です。アイニックスは、製造、物流分野を中心に初年度トータルで 100 台の販売を計画しています。

問い合わせ先：代表取締役 平本純也

アイニックス株式会社 〒153-0044 東京都目黒区大橋 1-6-2 TEL03(5728)7500 FAX03(5728)7510

Email: hiramoto@ainix.co.jp URL: <http://www.ainix.co.jp>

検証項目

シンボル	JAN/EAN/UPC(付加コード含む), Interleaved 2of5(ITF), standard 2of5, IATA 2of5, Codabar(NW7), Code11, Code39, Code128, Code16k, Code49, Code93, MSI, Telepen, RSS, PDF417 (Micro PDF417, EAN/UCC Composite 対応予定)
フォーマット	GS1-128, ISBT128, ITF14, AIAG B-4/B-10, GM1724, US-DoD UID, LOGMAR, HIBCC 等
ANSI 検証	スキャン波形、エッジ成立、最小反射率、シンボルコントラスト、最小エッジコントラスト、モジュレーション、デコード容易性、欠陥、デコード成立、10 スキャン平均
トラディショナル検証	平均バー幅偏差、太／細 比、PCS、明反射率、暗反射率、クワイエットゾーン、X寸法、デコード成立
2次元シンボル検証	デコード容易性、未使用誤り訂正、産出コードワード、デコード成立

